



脱炭素経営の支援

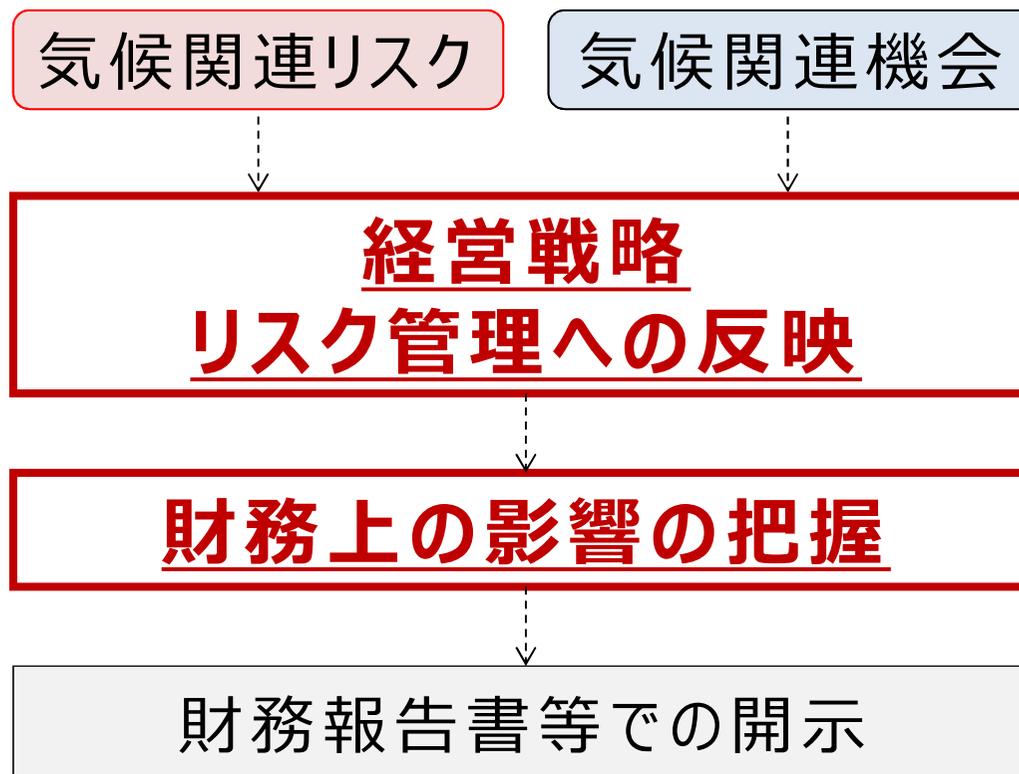
～TCFD提言に沿った気候リスク・機会のシナリオ分析支援～ 公募概要

2020年7月

環境省 地球温暖化対策課



TCFDは、気候変動の財務影響の開示を求めている



TCFDは、全ての企業に対し、①2℃目標等の気候シナリオを用いて、②自社の気候関連リスク・機会を評価し、③経営戦略・リスク管理へ反映、④その財務上の影響を把握、開示することを求めている

気候変動の経営インパクト・財務影響を把握可能

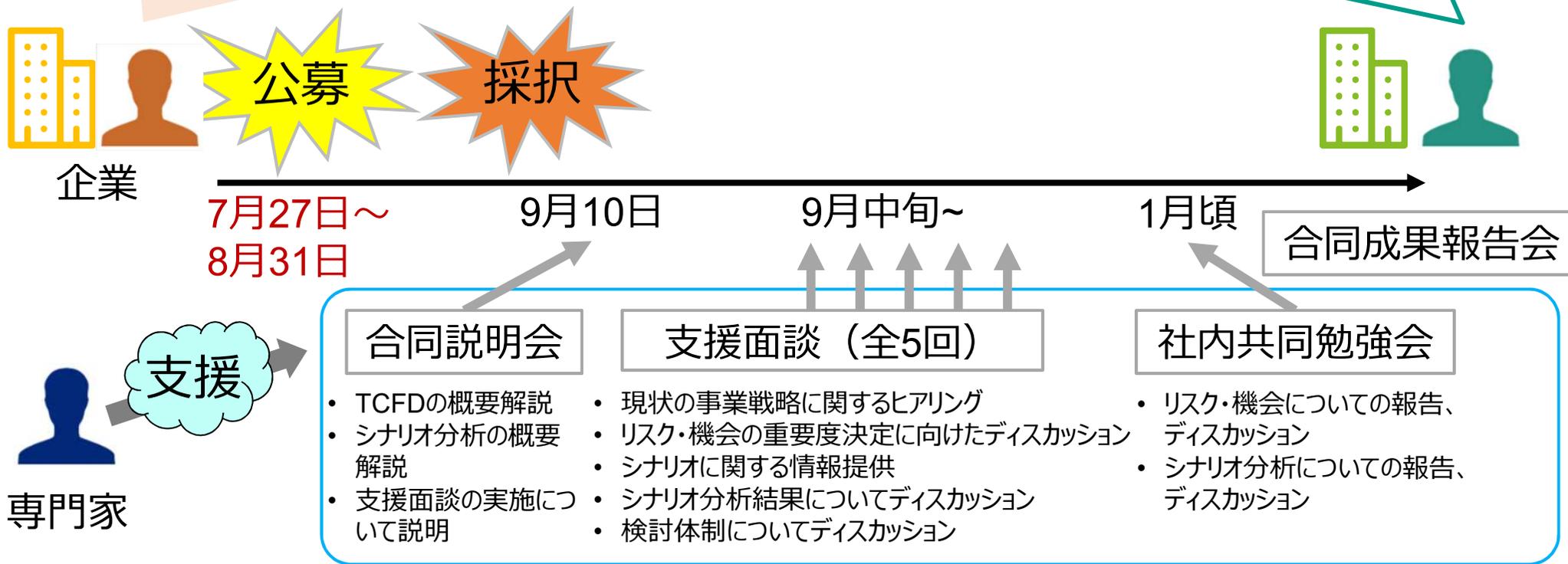
現状の課題

支援を受けた後の変化・得られるメリット

(気候変動が問題だというけど……)

- 気候変動の自社の影響が分からない
- TCFDに対応するべきと聞かすが、シナリオ分析が難しい
- 経営層が気候変動について理解してくれない

- 気候変動の財務影響が概ね分かる
- シナリオ分析手法のさわりが概ね理解できる (細かいチューニングは必要)
- 気候変動経営を進める、ネクストステップが分かる



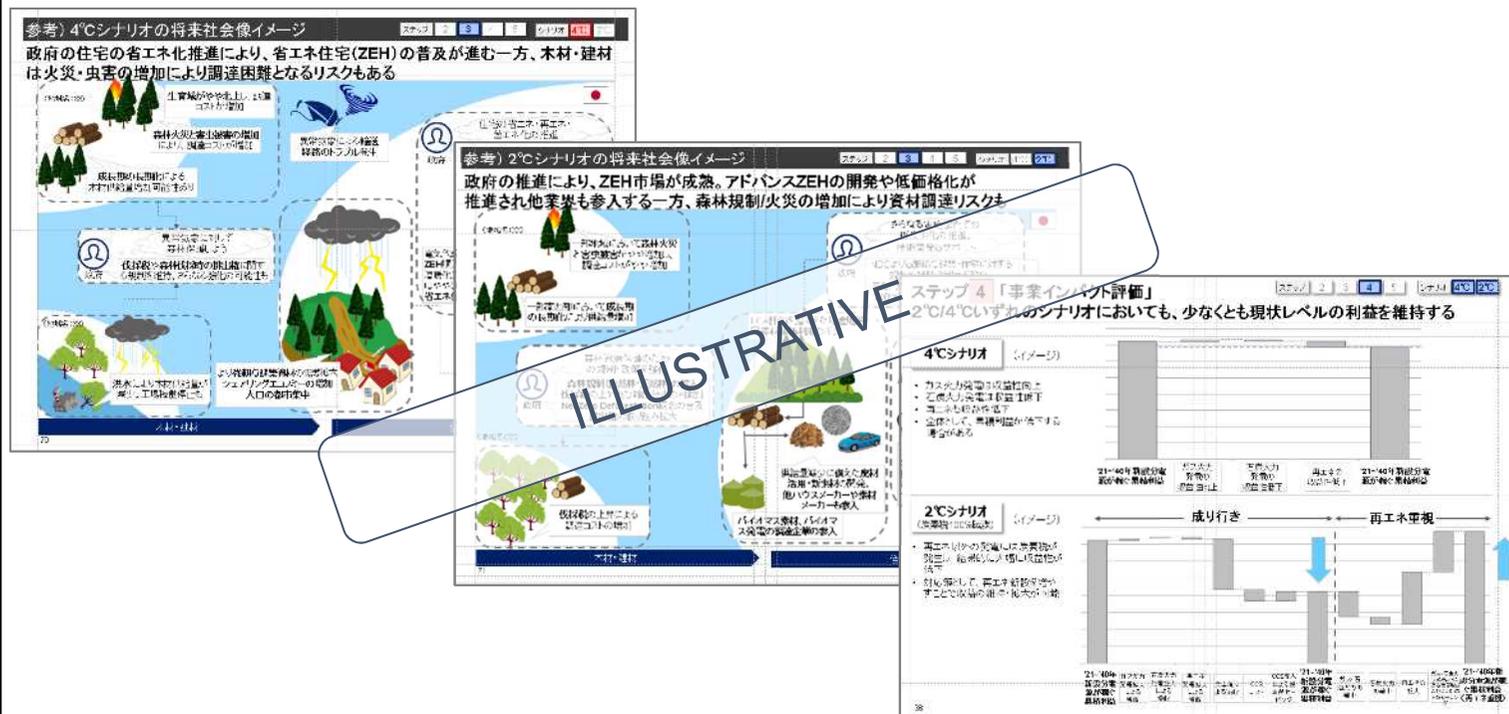
※スケジュールは変更の可能性があります

事業インパクト評価結果イメージ

5 各シナリオにおける事業へのインパクトの評価

支援のステップ

- 1 気候変動の影響が大きい事業領域の特定
- 2 重要なリスク・機会の特定
- 3 気候変動シナリオと時間軸の設定
- 4 リスク・機会に関連するパラメータの設定
- 5 各シナリオにおける事業へのインパクトの評価
- 6 リスク・機会に関する今後の対応策の検討



6 5を基に対処策を検討

支援結果取りまとめイメージ



➤ 各社の支援結果をガイドラインとして公開予定



平成31年度の支援結果については
「環境省 TCFD」で検索

<http://www.env.go.jp/policy/tcf.html>

【公募対象】

- TCFDに沿った気候変動のリスク・機会のシナリオ分析を実施した経験がないが、シナリオ分析の実施を検討している企業
- 成果の公開や、本事業成果を踏まえたTCFDフレームワークに沿ったシナリオ分析の横展開の際に、情報提供などの協力が可能である企業
- 5回程度のテレビ会議等での面談打ち合わせ・1回の社内共同勉強会（企業の環境・CSR部門、他部門、経営陣参加）が開催できる企業

【募集企業数】 計6社程度

【募集期間】 令和2年7月27日（月）～令和2年8月31日（月）

※スケジュールは変更の可能性があります

【公募先、連絡先】

- TCFD提言に沿った気候リスク・機会のシナリオ分析支援事務局
（デロイト トーマツ コンサルティング合同会社内）
- メール：scplan@tohmatu.co.jp

※よくある質問については、資料1-3「公募正式書類」の「7 よくある質問」を参照

1. 合同説明会の実施（1回、9月10日/WEB開催予定）

- ✓ TCFD・シナリオ分析の概要解説
- ✓ 支援面談のスケジュール、実施項目、第1回面談に向けた事前準備事項の説明

2. シナリオ分析の支援面談実施（5回）

<1回目>

- ✓ 現状の事業戦略に関するヒアリング

<2回目>

- ✓ リスク・機会の重要度決定に向けたディスカッション

<3回目>

- ✓ シナリオ決定に向けたディスカッション
- ✓ シナリオとリスク・機会との対応関係についてのディスカッション

<4回目>

- ✓ 各シナリオにおける事業へのインパクトについてのディスカッション

<5回目>

- ✓ シナリオ分析結果を受けた今後の対応策および情報開示についてのディスカッション

3. 社内共同勉強会実施（1回）

- ✓ リスク・機会およびシナリオ分析結果についての報告、ディスカッション

4. 合同成果報告会（1回）

- ✓ シナリオ分析実施企業によるシナリオ分析成果の発表、情報交換

※スケジュールは変更の可能性があります